



受領 令和 3 年 6 月 7 日 午後 1 時 10 分

令和 3 年 6 月 7 日

東かがわ市議会議長
井上 弘志 殿

東かがわ市議会議員 山口 大輔



一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨 (内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
新しい生活様式に対応した市内の学校対抗競技大会の開催を	<p>現在コロナウイルス感染症の影響により、子どもたちを対象にした様々な交流事業が中止、延期または縮小になっている。あわせて実施ができたとしても応援などの観覧が難しいケースも非常に多い。大規模な交流の機会は、現在の状況で検討することも難しいかと思うが、新しい生活様式として、ICTの活用やマインドチェンジを行うことで、学校対抗競技大会の開催が出来ると思われる。</p> <p>そこで以下の点について市長、教育長に伺う。</p> <p>(1) 競技ごとの少人数単位で交流大会を開催し、生徒・児童たちのタブレットでライブ・アーカイブ視聴が出来るようにしてはどうか</p> <p>(2) 運動だけではなく、文化活動も競技として設定し競い合えるようにしてはどうか</p> <p>(3) 単一競技の結果だけで勝敗を判断することなく、期間を定めていくつかの競技を行い、その総合得点で判断してはどうか</p> <p>(4) ICTのスキル習得の機会を得るためにも、東かがわ市デジタル推進室も競技大会の配信等に積極的に関わってはどうか</p>	市長 教育長
乳幼児の心の発達を守るために透明マスクの支給を	<p>入園してから長期間、もしかしたら在園期間中の間、保育者がマスクを常時つけた状態で保育し続ける状況が予想される。これが子どもたちに対してどのような影響を及ぼすのか。現状では明確な研究報告はないが、特に言葉ではなく表情で情報を得て、初めてことばの発音を耳から覚える3歳未満児への影響については計り知れないのではないかとと思われる。</p> <p>子どもたちの心の発達を守るためにも、フェースシールドやマウスシールドではなく、透明なマスク(全部または一部)を市が保育士、保健師等に支給すべきではないか。</p>	市長 教育長